

特集 機能性キノコ拡大へ

東栄新薬 24年売上は前年比で伸長 露地栽培アガリクスKA21

東栄新薬(東京都三鷹市)は、フランスで露地栽培した独自のアガリクス「KA21株」の売上を伸ばしている。自社最

終製品やOEM品の海外での売上をはじめ、原材料供給量が増えていること、海外企業も研究結果を自じやすく、商談がまよりのすい。

海外は現在、中国や台湾、香港、ベトナム、フィリピン、シンガポール、ネパールで自社製品やOEM品を販売している。今後、韓国やインド、モンゴル、タイに進出する計画を立てており、各国で原料登録など輸出に向けた準備を進めている。これら国々の企業からは既に複数引き合いがあり、同社は原料登録を終え次第、販売をスタートさせる。

また、同社は機能性や安全性の科学実証を深研させる中、クロールに素材の有用性を発信する

成果を発表した。加えて新たに特許を2つ出願し、以前出願した特許が一つ認められている。近年注目されているKA21株の機能性は、免疫賦活作用や育毛作用、育毛作用のメカニズムは、ヒトインスリン様成長因子であるIGF-1を増加させることにより、毛周期サイクルの成長を促進し、長期にわたる成長を促し、

薄毛や抜け毛を改善する効果が有意に改善。摂取1カ月後は男性更年期症状のスコアと、国際勃起機能改善作用を報告した。また、昨年は新たなDなど男性更年期障害の改善作用をはじめ、卵巣機能改善作用を報告した。卵巣機能改善作用については、キイロシヨウヨウエの雌を用いた試験で確認している。K摂取群に、卵巣サイズと産卵数が増大する傾向を

果、摂取前比へ勃起硬度が有意に改善。摂取1カ月後は男性更年期症状のスコアと、国際勃起機能改善作用を報告した。卵巣機能改善作用については、キイロシヨウヨウエの雌を用いた試験で確認している。K摂取群に、卵巣サイズと産卵数が増大する傾向を

見出している。